

# 平成13年度アマノリ養殖概況

牧野賢治・廣澤 晃

平成12年度漁期の概況は、育苗時期が10月下旬から開始され、11月上旬にはほぼ終了していた。本養殖の開始時期は各漁協によって違い、早い漁場では11月上旬、遅い漁場では11月下旬であった。本張り後は、主力漁場の伸びが鈍かったため、第1回共販枚数が少なかった。その後、伸びが回復してからは秋芽の生産は順調であった。年明け後も順調な生産が続き、3月中旬から3月下旬にかけて栄養塩の低下による色落ちが見られたが、その後はノリの色調は回復した。

平成13年度漁期の共販枚数は約2億8百万枚、前年比90.7%であった。平均単価は9.16円であった。

- 1 平成13年度漁場環境状況（図1～6）  
（降水量及び日照時間は徳島地方気象台のデータを用いた。）
- 2 平成13年度漁期の共販結果（図7～8）

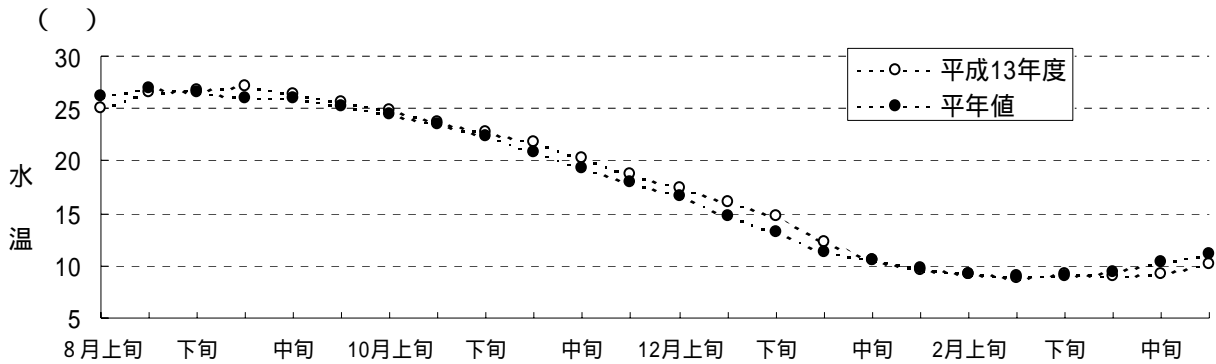


図1 平成13年度水温 (鳴門分場汲み上げ海水)

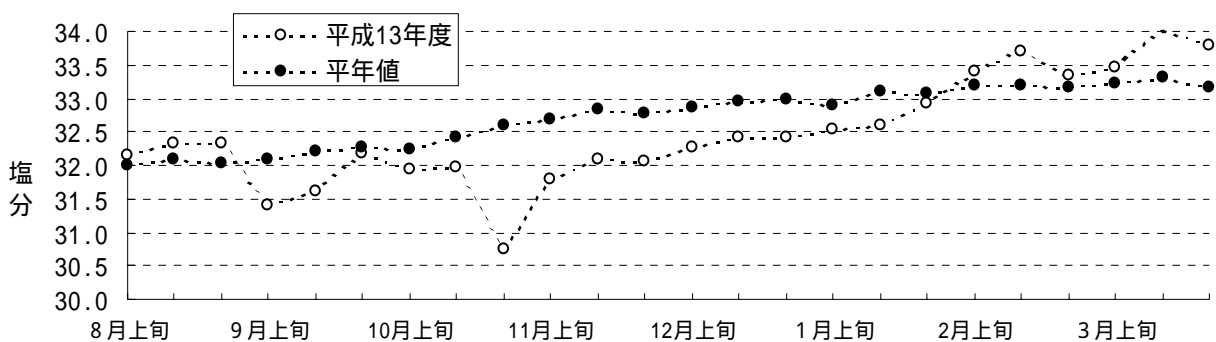


図2 平成13年度塩分 (鳴門分場汲み上げ海水)

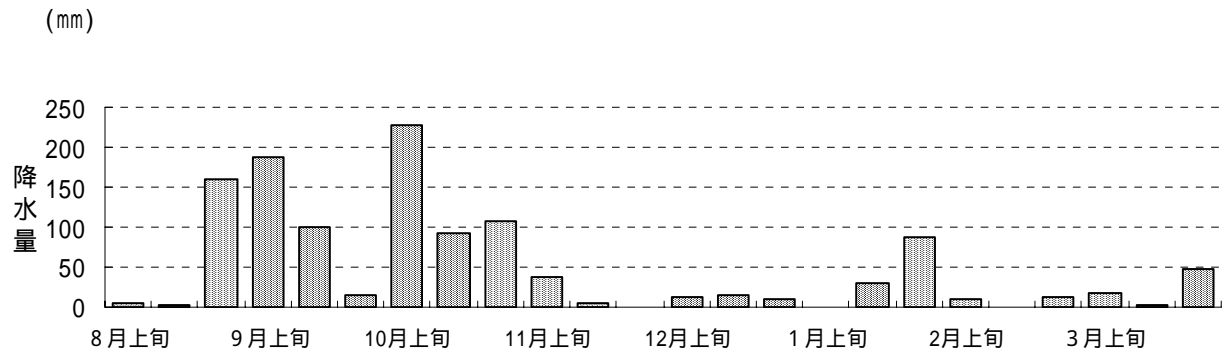


図3 平成13年度漁期の降水量（徳島市）

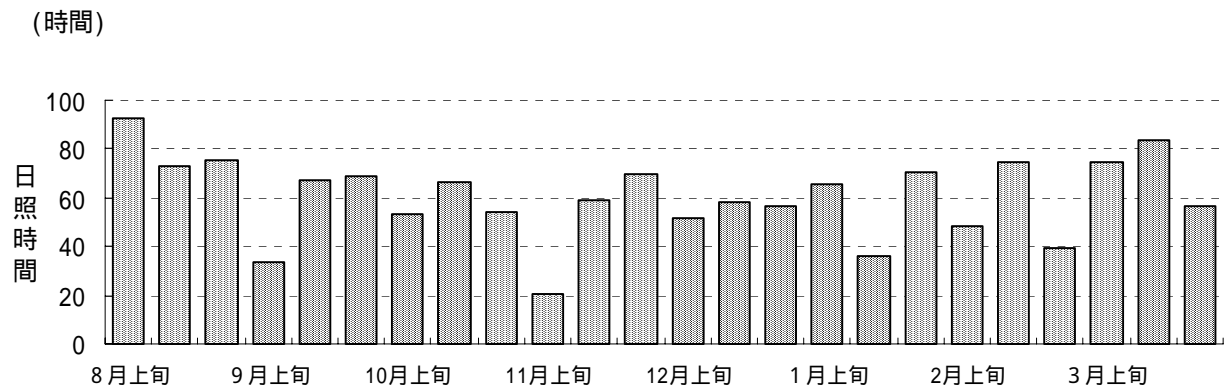


図4 平成13年度漁期の日照時間（徳島市）

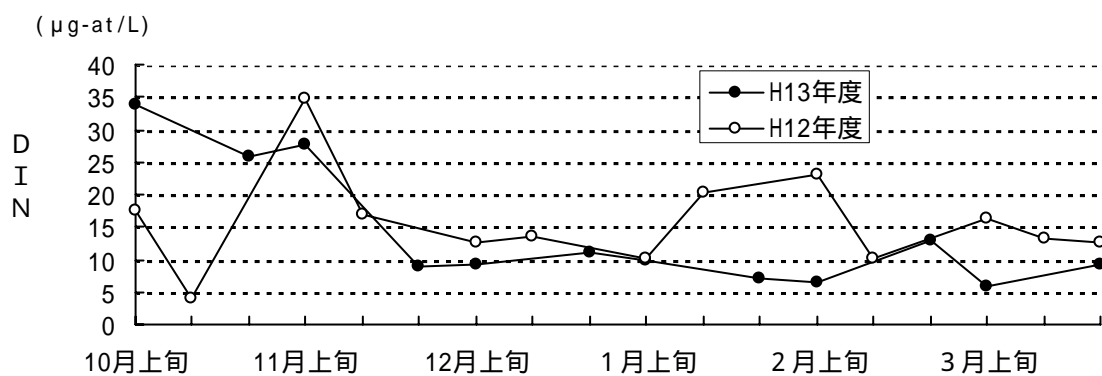


図5 各漁場のD I N（吉野川河口周辺）

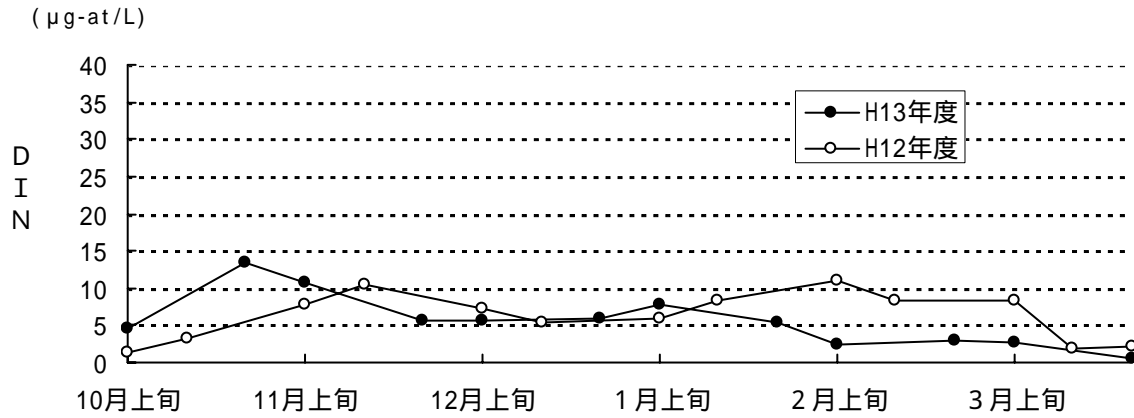


図6 各漁場のDIN(県南部漁場)

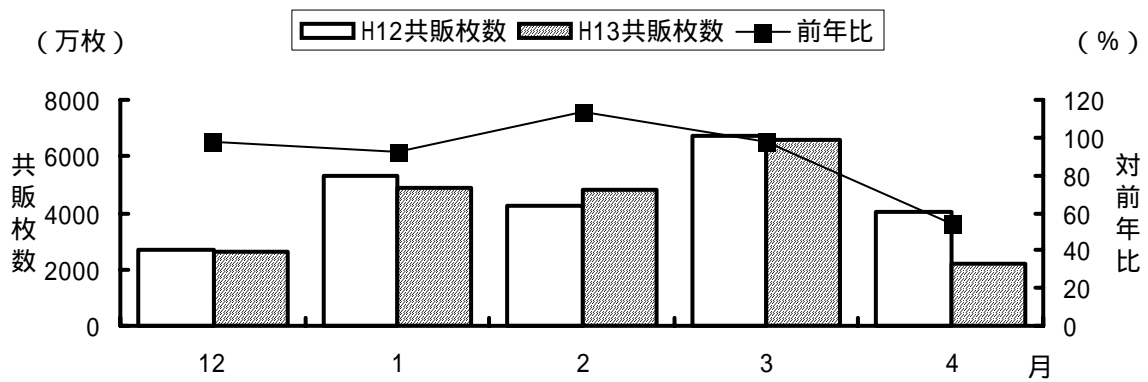


図7 月別共販枚数

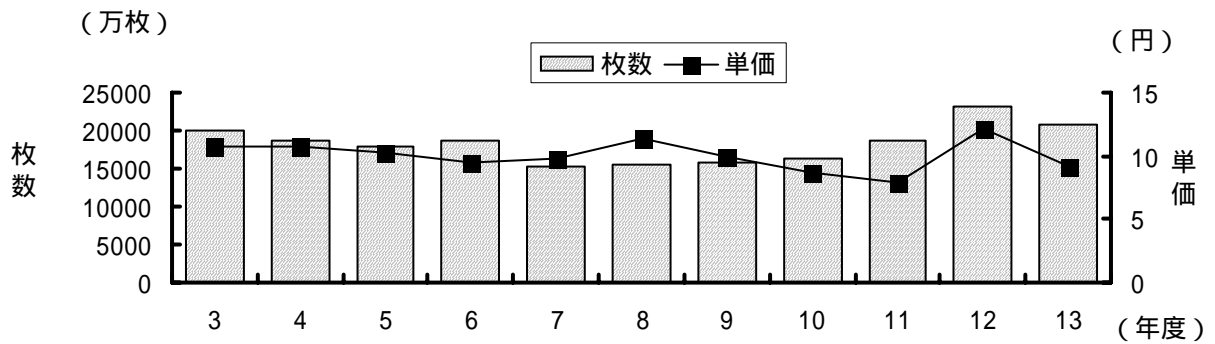


図8 年度別共販結果の推移